



TITLE:

京都帝國大學物理化學研究室昭和 三年度研究成績發表討議會

AUTHOR(S):

CITATION:

京都帝國大學物理化學研究室昭和三年度研究成績發表討議會. 物理化學の進歩 1929, 3(1): 1-2

ISSUE DATE:

1929-04-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/45862>

RIGHT:

京都帝國大學物理化學研究室昭和 三年度研究成績發表討議會

三月二日午後一時半より樂友會館に於て物理化學研究室昭和三年度に於ける研究成績表討議會を開きました。演題内容の大略は次の様であります。

1. ワイゲルト効果の研究 水銀鋼のハライドに就て

粟 津 三 郎

2. ネルンスト透電恒數測定法の改良

磯 谷 延 治

ネルンスト透電恒數測定法に於ける感應コイルの代りに熱電子管を用ひたる發振器を用ひ、ネルンスト法よりも尙細かく測定し得る蓄電器を考案し、二三の物質の透電恒數を測定した。

3. 樟腦の蒸氣壓並に蒸發速度測定

窪 川 眞 男

特に注意して精製した試料につき樟腦の蒸氣壓の測定をなし、蒸發速度の計算を行ひ一方擴散速度の測定及び直接蒸發速度の測定から出した蒸發速度の値を比較して論じ様と思ふ。

4. 還元ニッケルによる一酸化炭素の分解

李 泰 圭

240°C附近の溫度に於てこの反應は完全に不可逆反應なることを確めた。豫報以後の新しい結果から豫報に於けるそれとを關聯せしめて此の反應の機構を考へ様と思ふ。

5. ワイゲルト効果の研究 主として光鹽化銀に就て

今 堂 健 雄

主として光鹽化銀に就て偏光スペクトルにてワイゲルト効果を起こし、スペクトルの各部分に於ける効果の時間的變化を測定した。その結果を光の分散から考察する。

(2)

彙

報

6. 還元銅の水素吸着

内 田 繁 三

酸化銅を還元して作つた觸媒銅に就て各温度に於ける水素吸着量を測定した。

7. コロイド粒子の大きさの分配

小 田 切 瑞 穂

自然沈降を利用して寫真法により粒子大きさの分配状態を論じこれに依つて鹽化バリウムと硫酸の溶液を混合して生ずる懸濁液に就て測定を行つた。

8. 運動電氣ポテンシャル並に熱力學電氣ポテンシャル測定

古 谷 登

昨年硝子毛細管を用ひての流動電位測定法を述べ、且つ二三電解質の硝子—水間のポテンシャルに及ぼす影響を述べたが其後多數の電解質に就きこれを檢し一定の結果を得たからその結果を報告し、併せてハーバーの硝子電極により硝子—液體間のポテンシャルに就て二三電解質の作用を報告し様と思ふ。

9. ベケレル效果に就て

速 水 永 夫

酸化第一銅電極のアルカリ溶液の平衡系に於けるベケレル效果の定量的測定結果を述べ、其の熱力學的考察を試み、其の機構を論じ様と思ふ。

10. 鹽素及び水素の光化學的結合

市 川 禎 治

過去一ケ年間に於ける實驗結果に就て簡単に報告しその機構に及ぶ。

11. 光による膠質滲透壓の變化

堀 場 信 吉
馬 場 日 出 男

或種の膠質の滲透壓が光の作用にて著しい變化を來すことを認めたから其實驗に就て述べる。

以 上